

令和5年度

公益社団法人 埼玉県医療社会事業協会

議 事 録

第1回 理事会

日時：令和5年4月20日（木）
場所：オンライン会議（Zoom）

- 1、開催日時：令和5年4月20日（金） 19：00～21:15
- 2、開催場所：オンライン会議（Zoom）
- 3、出席者：理事14名、監事2名 計16名
出席：（理事）
杉山明伸 堀口泰正 東（竹野）みはる 千賀英昭
竹内潤子（倉橋）松本浩一 門岡高太郎 高瀬紀子（19：20～）
森田（近内）晴美（19：30～） 五十嵐一也 橋村健司（19：30～）
佐伯杏奈 榊原次郎 大塚智秋
（監事） 平野朋美 吉越千昭
欠席：（理事） 柳沼亮一
計1名
- 4、定足数確認（定足数8名）
理事 参加14名の出席で理事会は成立。
- 5、役割分担
議長：杉山明伸 書記：東（竹野）みはる
議事録署名人：平野朋美、吉越千昭
- 6、報告事項、討議事項
 - (1) 各部局より
 - <事務局>
 - ①6月3日（土）通常総会開催
 - ②ZOOMアカウント報告（五十嵐理事からの報告、討議）
資料参照
 - ・平野監事から、事務局長にアカウントの付与も必要と提案あり。
 - ・竹内理事から、研修部のアカウント付与を早く進めてほしいと要望あり。
 - ③会費免除規定について（竹野事務局長からの報告、討議）
規定案の文言や構成について最終調整。
 - ・名称を「育児休業等による会費免除に関する会費細則」とする。
→理事会にて承認。附則に令和5年4月20日から施行すると追記する。
 - ④今後の協会運営のあり方検討会
 - a.令和5年度第1回（第8回）あり方検討会報告（堀口副会長、竹野事務局長からの報告）資料2-1参照
理事会への提案1.役員間での連絡手段の変更 LINE WORKS（資料2-2）
→無料お試しで実施する。
2.交通費（自家用車）の変更
→理事会で承認。
 - b.埼玉県社会福祉士会 訪問報告（平野監事からの報告）資料3参照
役員の報酬については定款に定められている（2013年定款を改正）。
事務局長の位置づけは理事ではない。
訪問で得た情報等もふまえて、当協会の運営に活かせることは活かしていく。
- <総務部>（千賀総務部長からの報告、討議）総務部資料参照
 - ①会員状況の報告
東部82名、西部128名、南部119名、北部83名、不明2名、総計414名。

- ②各ブロックの活動報告。
- ③理事・監事改選について

<研修部> (竹内研修部長からの報告、討議)
平野監事より、調査研究補助事業の申請あり

<社活部> (近内社会活動部長からの報告、討議)
今年度も県民公開講座・相談会行う予定

<財務部> (榊原財務部長、高瀬理事からの報告、討議)

- ①今後の協会運営のあり方検討会から提案があった交通費の変更に関して
理事会に参加するための交通費は管理費の扱い。

「1km=20円」へ変更

→理事会にて承認。

- ②会計監査

4/26 (水) 10:00~開始予定。

ゆうちょ銀行から埼玉りそな銀行への入金手続きについて(現金を持ち歩くこと)、立入検査で指摘されている。自動送金770円/回または振込手数料880円/回。手段について、今後引き続き検討していく。

(2) その他

- ①通常総会について(五十嵐理事からの報告、討議) 資料1、日程表参照

6/3 (土) 大宮ソニックシティにてハイブリット開催。

議案書の原稿締め切りは4/28。業者に依頼する場合は、5/8までに印刷依頼する必要あり。議案書の承認は5/18。発送作業は5/20。

印刷費用は(議案書だけで)約5~8万円の見込み(立入検査では10万円以上の費用の場合は、合見積りが必要との指摘あり)

- ②役員選出について

- ・理事退任希望4名

- ・老健さんとめの竹本氏→理事選出の内諾あり

- ・埼玉医科大学病院総合医療センター飯田氏→理事選出(財務部長後任)の内諾あり

→幹事や会員に理事を担ってくれる方を引き続き募る。

(3) 次回理事会の開催について

・5/18 (木) 19:00~ オンライン開催予定

以上を以て議案等の審議を終了し、21:15議長より閉会を宣し、解散した。

上記は理事会議事録に相違ないことを証明する。(署名略)

令和5年4月27日

議事録署名人(代表理事)

議事録署名人 (監事)

議事録署名人 (監事)

令和5年度

公益社団法人 埼玉県医療社会事業協会

議 事 録

第2回 理事会

日時：令和5年5月18日（木）
場所：オンライン会議（Zoom）

- 1、開催日時：令和5年5月18日（木） 19：00～21：21
- 2、開催場所：オンライン会議（Zoom）
- 3、出席者：理事14名、監事2名 計16名
出席：（理事）
杉山明伸 堀口泰正 東（竹野）みはる 千賀英昭
竹内潤子 倉橋（松本）浩一 門岡高太郎 高瀬紀子
森田（近内）晴美 五十嵐一也 橋村健司 佐伯杏奈
大塚智秋 榊原次郎(19:30～)
（監事） 平野朋美 吉越千昭
欠席：（理事） 柳沼亮一
計1名
- 4、定足数確認（定足数8名）
理事 参加14名の出席で理事会は成立。
- 5、役割分担
議長：杉山明伸 書記：東（竹野）みはる
議事録署名人：平野朋美、吉越千昭
- 6、報告事項、討議事項

（1）各部局より

<事務局>

- ①通常総会議案書の承認、②発送作業、③通常総会、第3回理事会の確認については、後半に協議。
- ④ZOOMの契約変更の報告（五十嵐理事からの報告）
現在の契約内容は6/30まで使用可。7/1～プロプランへ変更予定。アカウント数9、1アカウント1,600円、年間172,800円。
管理者のメールアドレスを6/19までに返信する必要あり。
管理者を従来通り事務局とするか、ICT部門とするか検討していく。
- ⑤今後の協会運営のあり方検討会（堀口副会長からの報告）
堀口副会長、平野監事、竹野事務局長、幹事清水氏に加え、千賀総務部長、松本理事、高瀬理事が参加し、計7名体制。
次回5/24（水）19：00～ZOOM会議開催予定。

<総務部>（千賀総務部長からの報告、討議） 総務部資料参照

- ①会員状況の報告
東部37名、西部129名、南部121名、北部81名、不明0名、総計404名。
8条退会13名。
- ②各ブロックの活動報告。
今年度より北部ブロック責任者が埼玉よりい病院島田氏へ変更。
・「MSW Saitama」7～8月発行予定

<研修部>（竹内研修部長からの報告、討議）

- ①活動報告
今年度の研修は、新人研修、全体研修、学会を行う予定。
併せて、共同事業として平野監事の勉強会をお手伝いしていく。
・新人研修 全3回

1回目総論、2回目各論、3回理事例検討

事例検討のみ、集合形式。場所は県民健康センター大会議室予約予定（現状11/25、12/16空きあり）。1回目総論9/9予定。

事前課題に関しては、昨年度同様会長からの話・各部局長から部局の紹介・メッセージのYouTube配信。

→昨年度の動画を使用する形で良いか確認。総会後の理事会で再確認する。

・全体研修会（松本理事からの報告）

会員にアンケートを実施予定。アンケート内容は、希望する内容を10項目から3つ選択する。アンケートの案内書は、総会議案書と一緒に郵送する。

・学会

今後協議していく。

②会場予約について

会場の予約（大宮ソニックシティ）は電話+実際に予約に行くことが必要。

総会のみの場合の予約は今後事務局で予約。

総会+研修で開催できないか検討していく。

<社会活動部>（近内社会活動部長からの報告、討議）

①活動報告

5/11 部会開催。

県民公開講座と医療福祉相談会について、候補日は11/12、12/2、12/3。

内容は成年後見制度について（落語）を検討中。

落語講師の候補者は神田 織音氏、桂ひな太郎氏。

今後の予定としては、6月末に日程及び内容を決定、7月に講師依頼。

昨年作成したパンフレットの活用方法を検討していく。

医療福祉相談会は昨年0名、一昨年1名であり、参加人数は少ないが今後の継続して行っていく。

<財務部>（高瀬理事からの報告、討議）

①活動報告

4/26監査終了。

会費納入の案内を郵送済。

・決算報告、収支から約36万円の赤字あり。支出の要因としては、前年度に比べると旅費・交通費の増加、県民講座のリハーサル等の経費で支出増。

会費の未納分を加味しても、約8万円の赤字となる。

・会員減少に伴い、会費収入が減少している状況。

・埼玉りそな銀行の預金から補っており、現金が目減りしている。

→今後の事業計画・予算計画を検討していく必要あり。

→事前に各理事へメールした総会議案書（案）に決算報告書・監査報告書等の添付なく、理事会にて内容を確認。

<事務局>（竹野事務局長からの報告、討議）

①通常総会議案書の承認

修正した議案書を明日各理事へメール。5/19（金）総会議案書を印刷予定。

→理事会にて承認。

②発送作業について

5/20（土）10：00～協会事務所 4名で作業予定。

③通常総会、第3回理事会の確認について

12：00会場集合、14：00開始予定。

新理事となる竹本氏、飯田氏、山梨氏参加予定。

（2）次回理事会の開催について

・6/3（土）通常総会終了後開催予定

以上を以て議案等の審議を終了し、21：21議長より閉会を宣し、解散した。

上記は理事会議事録に相違ないことを証明する。（署名略）

令和5年5月25日

議事録署名人（代表理事）

議事録署名人（監事）

議事録署名人（監事）

令和5年度

公益社団法人 埼玉県医療社会事業協会

議 事 録

第3回 理事会

日時：令和5年6月3日（土）
場所：大宮ソニックシティ

- 1、開催日時：令和5年6月3日（土） 15：25～16：32
- 2、開催場所：大宮ソニックシティ
- 3、出席者：理事14名、監事1名 計15名
出席：（理事）
杉山明伸 東みはる（竹野） 竹内潤子 倉橋（松本）浩一
門岡高太郎 高瀬紀子 大塚智秋 平野朋美
森田（近内）晴美 橋村健司 長岡（佐伯）杏奈 飯田里美
竹本耕造 山梨誠
（監事）吉越千昭
欠席：（理事）千賀英昭 （監事）永井薫
計2名
- 4、定足数確認（定足数8名）
理事 参加14名の出席で理事会は成立。
- 5、役割分担
議長：杉山明伸 書記：東みはる（竹野）
議事録署名人：吉越千昭
- 6、報告事項、討議事項

(1) 新規役員顔合わせ
新理事・監事の挨拶

(2) 会長（代表理事）、副会長（業務執行理事）の決定

議長は、会長を1名を選定し、その者を代表理事とする旨を述べ、議場に諮ったところ、全員一致をもって、下記の者が選定された。なお、被選任者は、その就任を承諾した。

埼玉県東松山市旗立台5番地5
代表理事 杉山 明伸

副会長（業務執行理事）大塚智秋、竹内潤子が選定され、両名とも就任を承諾。

→理事の各部局への配属は次回理事会にて正式決定する。

(3) 各部局より

<事務局>

①協会運営あり方検討委員会（堀口顧問からの報告）

別紙資料参照。

今後の協会運営あり方検討委員会 設置に関する覚書（案）を作成。

現在メンバー7名だが、他の会員にも募っている。

②ICT部門（清水幹事からの報告）

別紙資料参照。

ICT部門設置に関する提案。

6/3現在メンバー6名体制。

<財務部>（高瀬理事からの報告）

①活動報告

現在アルバイトの給料に関して交通費なし、時給1,000円。
アルバイトの規定を見直していくかどうか今後検討。

<社会活動部>（近内社会活動部長からの報告）

①活動報告

県民公開講座と医療福祉相談会について、12/16（土）15：00～17：00 ウエ
スタ川越予約済。開催方法は未定。

（4）次回理事会の開催について

・7/6（木）19：00～オンライン開催

以上を以て議案等の審議を終了し、16：32議長より閉会を宣し、解散した。

上記は理事会議事録に相違ないことを証明する。（署名略）

令和5年6月9日

議事録署名人（代表理事）

議事録署名人（監事）

令和5年度

公益社団法人 埼玉県医療社会事業協会

議 事 録

第4回 理事会

日時：令和5年7月6日（木）
場所：オンライン会議（Zoom）

- 1、開催日時：令和5年7月6日（木） 19：00～22：04
- 2、開催場所：オンライン会議（Zoom）
- 3、出席者：理事15名、監事2名 計17名
出席：（理事）
杉山明伸 東(竹野)みはる 竹内潤子 門岡高太郎
高瀬紀子 大塚智秋 平野朋美 千賀英昭
橋村健司 長岡(佐伯)杏奈 飯田里美 竹本耕造
山梨誠 倉橋(松本)浩一(～21：53)
森田(近内)晴美（19:15～）
（監事）吉越千昭(19:30～) 永井薫
欠席：
計0名
- 4、定足数確認（定足数8名）
理事 参加15名の出席で理事会は成立。
- 5、役割分担
議長：杉山明伸 書記：東みはる（竹野）
議事録署名人：吉越
- 6、報告事項、討議事項

(1) 会長（代表理事）あいさつ

- ①新体制発足にあたって
- ②日本医療ソーシャルワーカー協会会長会報告
 - ・日本社会福祉士会、日本精神保健福祉士会、日本医療ソーシャルワーカー協会、日本ソーシャルワーク教育学校連盟が一般財団法人日本ソーシャルワークセンターを設立。こども家庭ソーシャルワーカーの認定機関。
 - ・日本医療ソーシャルワーカー協会 東京大会6/17、6/18開催。約700名参加。
 - ・日本医療ソーシャルワーカー協会の会員数約5000名。会員数の減少は当協会だけではない。各都道府県協会も会員数が減っている。都内の大規模病院は実習や採用を募集しても来ない。
 - ・次回は8月下旬に開催予定。
- ③埼玉県社会福祉士会 出席報告
6/24開催、約50～60名参加。

(2) 新体制決定

- ①副会長 業務執行理事：大塚、竹内 常務理事は大塚
 - ②事務局 東（竹野）事務局長、平野、山梨
 - ③総務部 橋村総務部長、千賀
 - ④研修部 門岡研修部長、倉橋（松本）、竹本
 - ⑤社会活動部 森田（近内）社会活動部長、長岡（佐伯）
 - ⑥財務部 高瀬財務部長、飯田
 - ⑦監事 吉越、永井
 - ⑧顧問 堀口
- 各部局の縦割りではなく、横断的に活動できると良い。

(3) 各部局より

<事務局> 東(竹野) 事務局長からの報告、討議

①報告事項

・登記、法人登録報告

6/17 まめの木事務所へ登記の書類全て提出。

法人登録に関しては、6/28申請。不備あったが、7/7までに申請手続き終了予定。

・ZOOM契約

7/1~新しい契約内容で利用可能。

・フィッシング詐欺についての注意喚起

・今後の理事会議事録への署名について

理事の印鑑を事務局で購入、事務局が代理で押印する運用方法で良いか。

→理事会にて承認。

②育児休業等による会費免除申請書様式の決定について(別紙参照)

申請する際は協会事務所に郵送する。

→申請書の様式に関しては、理事会にて承認。

永井監事より：定款第6条には「会費を納入しなければならない」とあり、今後定款を改正するときには但し書きを追記することが必要。定款と規則の整合性を持たせる必要あり。

杉山会長より：当団体はインボイス制度は関係ないのか。

→並木先生に確認していく。

③ラインワークスの利用上の配慮について

利用時間はお互いが配慮していく(特に利用時間は設定せず)。

④今後の協会運営の在り方検討委員会報告(別紙参照)

月1回、第2水曜日14:30~開催。

ChatGPT活用し委員会の内容を要約。

1. ソーシャルアクションの重要性、2. 会員増加のための新しい提案、

3. 既存事業の見直しと新規事業の提案

今後の取り組みとして、1. 会員の参加と質の変化に対する対策の検討、

2. ソーシャルアクションの強化、3. 新しい会員制度の導入、4. 既存事

業の見直しと新規事業の提案、5. 会員増加のための戦力の策定。

<総務部> 橋村総務部長からの報告、討議(別紙参照)

①会員状況

東部73名、西部132名、南部121名、北部82名、総計408名。

②各ブロック活動報告

南部ブロックより：対面式の研修について、理事会からご意見があればとの要望あり。→使用する会場の注意に従うということで良いのではないかと。対面式研修自体は特に問題ない。

③「MSW Saitama」について

8月中旬頃、次回発行予定。HPにも掲載予定。

会長の巻頭言、新理事からメッセージを掲載。

竹内副会長より：平野理事が行っている自主研究事業の紹介を行うのはどうか。

<研修部> 門岡研修部長からの報告、討議

①新人研修について

7月末までに入会した会員に対して、8月上旬開催通知を郵送。

9/9、10/14、11/25開催予定。11/25は対面にてグループワークを行う。

参加費は1人2000円。参加費の徴収方法はPeatixを検討したい。

・全体研修会

全体研修会の内容についてのアンケート結果

1. 貧困 (63%) 2. ソーシャルワーク援助技術 (46.3%)

全体研修会+学会でハイブリット開催、2～3月の土曜日開催予定。

②中堅研修会について (別紙参照)

「ソーシャルワーク実践とは? 実践力を養うためには」

講師 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 社会リハビリテーション学科教授 宮崎清恵先生

対象は8年以上の実践経験を有する方。受講人数目標は約60名。

名称については中堅研修ではなく、専門研修とする (中堅研修は4年以上の方を対象としていたため)。

日時について、講師からの候補日は12/1 (金) 午後または18:00～20:45、

12/2 (土) 18:00以降、12/8 (金) 勤務終了後 (18:00～20:45)。

→日時の決定に関しては研修部に一任。

案内、受講料の徴収はPeatixを活用するという方向性で検討に入る。

講師謝金は50,000円。

<社会活動部> 近内社会活動部長からの報告、討議

①県民公開講座について (別紙参照)

12/16 (土) 14:00～16:00 ウエスタ川越

講師 講談師 神田織音氏

オンデマンド配信は可能との返答あり。

講師の謝金について (交通費含めて) 60分11万円

→価格交渉を試みる。

集客率アップするために広報の仕方を考えていく。

<財務部> 高瀬財務部長からの報告、討議

①活動報告

②東 (竹野) 理事への交通費支給について

交通費は支給する。

給与の支払いについては、引き続き今後検討していく。

<ICT部門設置準備室> 清水幹事からの報告 (別紙参照)

・データベース管理

Kintone 1500円×5=7500円 ライセンス契約 5ライセンス

(公益社団法人ライセンスが通れば値下げあり)

よって、データベースを考えるとICT部門として月1万円程の予算があれば基本のデータベースは組めると考えている。

・オープンチャットについての紹介

会員のオープンチャットを作り、情報発信と情報収集を行う。
各ブロックの研修の案内、参加者の確認も可能。各エリアを跨いだ研修の案内ができる。

(4) 次回理事会の開催について
・9/7(木) 19:00～オンライン開催

以上を以て議案等の審議を終了し、22:04議長より閉会を宣し、解散した。

上記は理事会議事録に相違ないことを証明する。(署名略)

令和5年7月13日

議事録署名人(代表理事)

議事録署名人(監事)

議事録署名人(監事)

令和5年度

公益社団法人 埼玉県医療社会事業協会

議 事 録

第5回 理事会

日時：令和5年8月3日（木）

場所：協会事務所、オンライン会議（Zoom）併用

- 1、開催日時：令和5年8月3日（木） 19：03～21:17
- 2、開催場所：協会事務所、オンライン会議（Zoom）併用
- 3、出席者：理事11名、監事2名、幹事1名、顧問1名 計15名
出席：（理事）
杉山明伸 竹内潤子 東（竹野）みはる 千賀英昭
橋村健司 倉橋（松本）浩一 門岡高太郎 高瀬紀子
飯田里美 長岡杏奈 平野朋美
（監事） 吉越千昭(19：20～) 永井薫(19：05～)
（幹事） 清水信貴(19：27～)
オブザーバー 堀口泰正
欠席：（理事） 大塚智秋 森田（近内）晴美 竹本耕造 山梨誠
計4名
- 4、定足数確認（定足数8名）
理事 参加11名の出席で理事会は成立。
- 5、役割分担
議長：杉山明伸 書記：平野朋美
議事録署名人：杉山明伸 吉越千昭 永井薫
- 6、報告事項、討議事項

（1）会長より

- ・8月26日（土）13：30～16：30 大分県にて全国会長会が開催される。
- ・会長はオンライン参加。埼玉県からも他に2人程参加することが可能なので、関心のある理事は出席していただきたい。

（2）各部局より

<総務部> 橋村総務部長からの報告、討議（総務部資料参照）

①会員状況の報告

東部73名、西部132名、南部120名、北部83名、総計408名。
（入会者 北部ブロック1名）

②各ブロックの活動報告

- ・北部ブロックの補足事項として、松本理事より「ブロック運営委員として新たに山口氏、永原氏の選出を予定している」と発言があった。
- ・西部ブロックの補足事項として、杉山会長より「7月28日、ハイブリッドで全体会を開催し、約50名の参加があった」と発言があった。

③「MSW Saitama」106号について

- ・9月中旬の発行を予定している。今後は、テーマを設定する予定である。

<財務部> 高瀬部長からの報告、討議（財務部資料参照）

①財務状況報告

- ・資料に記載した7月7日以降、一度財務処理をしているため、現在の会費納入者は316名、未納95名、未納退会者は45名。残高については、一部ゆうちょ銀行からりそな銀行に移し替えているが、預金が約220万円ある。
- ・今年度収入は、会員400人として会費収入280万円でこれだけ捉えると、後述する支出予算額の総額を大きく上回ることになる。が、今年度については、昨年度コロナで十分活動できなかったことを理由に返還されたブロック返還金197,048円と、繰越金975,716円を併せれば、収入合計は3,972,764円と

なる。支出については、資料にあるように、各部門から当初要望のあった金額と、ICT関連経費の月1万円を合計すると今年度3,801,916円である。このため、今年度は、これ以上各部署の支出が増えなければ持ちこたえられる。ただし、今のままいけば来年度には確実に支出が収入を上回ることになる。

② 2023年度収支予測と有形固定資産（定期預金）の活用に関する川原経営グループ並木氏からのコメント

・上記の状況を並木さんに説明し、550万円の定期預金の活用について尋ねたところ、次のようなコメントを得た。

→ 定期預金を取り崩すことは問題ない。ただし、定款42条から44条に従って、理事会で修正の予算案を作成し、総会での議決が必要となる。来年度、協会の基盤を整えるということで定期預金を使うことは問題ないと思われるが、定期預金も有限であることから、同じような体制でいくと、早晚赤字になってしまう。

③ 今後の会費徴収について

・今後の会費の入金管理について、会費ペイの導入を検討している。近日中に、会費ペイの説明会に参加予定である。

・現在わかっている範囲では、手数料はかかるが、会員の支払いがコンビニ・クレジットカード等ででき、入金した会員の名簿管理まで可能になる。来年度の会費納入までの懸案事項である。

④ 財務部に関する質疑応答、補足意見

松本理事：未納退会者が45人ととても多いが、いつの期間の退会者か？

高瀬理事：これは今年度だけでない。数年前からの総計である。

会長：ICT関連経費の年間12万円は、予算の科目としてはどこに入るのか？

高瀬理事：ICT関連経費は予算案には全く計上されていなかったものである。

会長：ICT関連経費を、どこの予算科目に載せるかについても、並木さんに確認しておく必要があるかと思う。

竹野事務局長：並木さんから、ICT部門のコストについて、導入のための契約費用を支払うことには、留意する必要があると言われた。

高瀬：それは事前に伺っている。ICT関連経費をどの項目で計上するかは、使途と目的によって変わってくると思う。例えば、事業費の雑費とか。契約にかかる一時金は、これまでコロナ禍でZoomの契約をした際も支出している。その費用は、事務局の支払契約料に含めていた。

<事務局> 竹野部長、清水ICT部門設置準備室長からの報告、討議
(事務局資料参照)

① 報告事項

・法務局への法人登記及び内閣府の公益法人登録報告（電子申請）は、無事終了した。法人登録については、2回修正依頼があり、最終的に8月1日並木さんが確認後に提出済。過去に同様の内容で修正依頼があったが是正されていなかった。今後は、登録内容や方法、必要書類等マニュアル化して申し送っていく。

・一人目の育児休業等による会費負担免除申請が提出された。

→ 会長より、理事が目を通したうえで、決裁する必要があるため、次回対面で開催し、その場で確認・承認する旨の意見があった。

- ② 今後の協会運営のあり方検討委員会報告（資料1、資料2）
- ・資料に基づき、各部局ごとの月別予定を掲載した年間計画を作成することで、協会全体の業務を可視化したいと提案がなされた。この予定表が、全体で有効活用されるためには、理事会でアプリ（Google Work space）の共有をはかることで効率的となる。
- ③ 今年度のICT推進計画と予算案について
- ・以下のアプリの導入に関して、清水ICT部門設置準備室長より画面共有のうえ、説明がなされた。（kintone、Peatix、Google Work space）主な内容と経費は概ね次の通りである。
 - ・kintone：データベースソフト。会員管理のデータベース及び書類管理のソフトとしても有効である。個々の会員の保有する情報（入会日、所属機関、写真等々）を個々に入力することで、一覧にし、データベース、統計処理に活用することができる。必要な書類を1か所に格納することで、必要な人が必要な時にそれを見ることができれば、業務の引き継ぎも円滑になる。現在個人で登録しているZoomのアカウントも、このソフトを使って管理することが可能になる。経費としては、一般団体で申請した場合は、月8,000～9,000円程度であるが、公益社団法人ライセンスが承認されれば月5,000～6,000円程度で利用できる。
 - ・Peatix：広報、申し込み、集客、入金等の管理ができる。入金者を一覧で観ることも可能。また、個別あるいは全体へのメッセージを流すこともできる。一連の流れが自動化でき、業務の効率化につながる。契約費用はかからないが、チケットの金額の4.9%+99円の手数料が協会負担となる。
 - ・google work space：現在、Zoomアカウント所持者が個人ないし職場のものを登録しているZoomのアドレスについて、協会で取得し、それを理事や会員に協会から付与することが可能になる。クラウドのワード、クラウドのエクセル等を共有に見たり書き込むことで、理事の情報共有が瞬時に可能になる。併せて、協会のユーチューブチャンネル、アンケート等を作成することもできる。コストに関しては、非営利団体として承認されれば、無料での利用が可能になる。

④ 質疑応答

門岡理事：会員管理情報について、誰がどこまで見られるのか？

清水幹事：kintoneは、しっかりとしたアカウント管理ができる。細かい権限管理をすることができる。

長岡理事：①Google Work Spaceについては、セキュリティが賛否両論ある。また、Peatixは、業者が閉じたり費用が高額になった時、乗り換えは可能なのか？

清水幹事：Googleは、アカウント持ってなくても、リンクを踏めば誰でも情報が見られるし書き込めてしまう。kintoneよりはセキュリティが甘いと言われている。このため、例えば、Google Work Spaceでアドレスを取得した会員のみが、情報を見られるような設定にすることで、ある程度の質の担保ができると思う。気密性を保つために、アカウント管理と情報管理ができるような造りにする必要がある。

松本理事：今後、こうしたシステムが普及すれば、郵送の必要はなくなるのか？郵便を出さなくてもよくなるのか？

清水幹事：いずれは、会員全員のコミュニケーションツールとして、ラインか

ラインワークスを利用できるとよいだろうが、まずはkintoneやPeatixが整ってからの話になる。

会長：過去にラインワークスに入れなかったことがあった。理事の理解も十分追いついていない。基本的には、まずは役員（理事、監事、幹事）が管理する権限を持ち、共有することが必要であろう。一方で現在は、会員全てに協会の情報が周知されているわけではなく、ある意味不公平な状態と考える。ラインないしラインワークスで情報を伝達できるようにすることは、この1年で決着しないとイケないだろう。

会長：会費徴収サービスを、他のサービスとまとめることは可能なのか？

清水幹事：例えば会費管理にしても、Peatixでは10%かかる。会費ペイの方が低コストである。

会長：今回説明されたシステムの導入は、基本的には役員のためのものとして理解する。

竹内副会長：先に財務部から話の出た、ICT部門が必要としている月1万円の根拠は何か？

清水理事：googleは導入費はかからない(無料)。Peatixは1件当たりいくらなので、予算組はできない。経費はkintoneに関わるものである。ここで、了解が得られれば、さっそく必要書類を提出し、利用に向けて動き出す。

⑤ 決定事項

- ・今後の活動のために、kintone、Peatix、google work spaceの導入をすすめる。必要な手続きは、事務局とICTチームが協力して実施する。
- ・会費ペイについても、前向きに検討をすすめる。
会長より、現在の会費の収支状況と先の財務部の報告内容から考えて、先を見据え、まずは会員の拡大をすすめる、ないしは必要に応じて会費の値上げを行うといった問題意識は共有しておく必要があるという意見があった。

<研修部> 門岡部長からの報告、討議（研修部資料参照）

① 新人研修会について

- ・対象者は30人に対して、開催案内通知を発送した。Peatixの利用が可能になれば、Peatixで受講生に開催案必要な情報を掲載する。Peatixの利用ができなかった場合、納入時期は再検討する。
- ・研修費は、2,000円を予定しているが、この場で決裁いただきたい。
- ・1回目は9月9日。オンライン開催。会長の話とブロック懇談会を実施予定である。会長とブロック長には、公文書を発送する。
- ・新たに部長になった橋村理事、高瀬理事、門岡理事のコメントは、今月中に収録予定である。

② 全体研修会・学会について

- ・同日開催で考えている。2月～3月開催予定。テーマは、会員アンケートで最も関心が高かった「貧困問題」とする。現在講師として名前が挙がっているのは、i) 都立大学 安部彩先生、ii) 北海道大学 松本伊智朗先生、iii) 谷川智行医師といった名前が挙がっている。他にも、希望があれば、連絡いただきたい。全体研修会の日が決まり次第、講師に交渉。

③ 専門研修について

- ・開催日程は、2024年1月20日(土)の午後に決定した。
- ・ソーシャルワーク実践を考える会主体で動いてもらい、研修部がそこに協力

するようなイメージで考えている。Peatixが導入できるのであれば、利用予定。

④ 質疑応答

会長：専門研修などは、参加費を徴収しないと講師料が持ち出しとなる。

清水幹事：Peatixの口座登録は高瀬さんと話して詰めている。Zoomアカウントは、協会の法人アカウントを使用予定。

会長：全体研修のテーマである貧困問題は、どの視点からのものか。

門岡理事：会員に何を学んでもらうかによって、講師を決めていく。

会長：全体研修の講師は、次の理事会で確定してほしい。

竹内副会長：専門研修に関しては、昨年度からソーシャルワーク実践を考える会を主体として、研修部はお手伝いというスタンスで考えていた。プログラム、周知の方法、受講料の設定、グループワークの方法、グループ分け、アンケート内容、当日の司会等々は考える会で考えていただき、案及び何をどこまでお手伝いするかを研修部に伝えていただきたい。

⑤ 決定事項

- ・新人研修会の受講料は、2,000円とする。
- ・全体研修会・学会は同日開催とする。

<社会活動部> 長岡理事からの報告、討議（社会活動部資料参照）

① 県民公開講座進捗状況

- ・講師料は、交通費含めて10万円で交渉成立した。
- ・事前準備として、高座台セットが必要になる。ネット情報等確認しながら、準備をすすめる。
- ・チラシは、A4サイズとし、印刷枚数は昨年より減らすことで、コストを抑えた。講談の3つの柱について説明を加えたい。後日オンデマンド配信を行う案内についても内部で相談する。チラシについては、8月中旬から下旬には、見積もりをもらう予定。チラシの配布先については、次回理事会で案を提示する。データで拡散を含め、配布・周知の協力を依頼したい。
- ・後援団体は、埼玉県、川越市、埼玉県社会福祉士会、埼玉県医師会、埼玉県社会福祉協議会、川越市社会福祉協議会の予定である。

② 意見、質疑応答

竹内副会長、平野理事：連絡先は、曜日に関わらず、確実に電話を受けられるところがよい。また、電話番号は当日までと当日に分けて記載した方がよい。

長岡理事：昨年同様、丸木記念病院相談室で受けることは可能である。

飯田理事：主催は、あくまで埼玉県医療社会事業協会なので、そこは目立つようにした方がよい。主催が丸木記念病院と誤解を与えないような工夫が必要であろう。

平野理事：相談会を実施するのであれば、相談を希望する方が相談しやすい雰囲気・環境をつくる配慮が必要と考える。チラシには、当協会がこのような企画に取り組む意味を短文な言葉で入れられるとよい。

③ 決定事項

- ・今回の意見を参考に再度社会活動部でチラシ案を作成し、最終的にはラインワークスを使って決済する。

(3) 監事より

- ①定款改正及び運営要領の見直しについて 永井監事から発言(資料参照)
- ・定款改正に関連して、「会費規定」の細則として作成した育児休業等による会費免除に関しては、定款会費納入義務との整合性がとれるようにしてほしい。
 - ・事務所職員の報酬に関して、資料に記載したように運営要領の見直しが必要と考える。

(4) 次回理事会の開催について

- ・9月8日(金) 14:00~17:00 原則直接出席で開催する。

以上を以て議案等の審議を終了し、21:17議長より閉会を宣し、解散した。

上記は理事会議事録に相違ないことを証明する。(署名略)

令和5年8月10日

議事録署名人(代表理事)

議事録署名人(監事)

議事録署名人(監事)

令和5年度

公益社団法人 埼玉県医療社会事業協会

議 事 録

第6回 理事会

日時：令和5年9月8日（金）
場所：オンライン会議（Zoom）

- 1、開催日時：令和5年9月8日（金） 14：00～16：28
- 2、開催場所：協会事務所、オンライン会議（Zoom）併用
- 3、出席者：理事13名、監事1名、幹事2名、顧問1名 計17名
出席：（理事）
杉山明伸 東（竹野）みはる 千賀英昭 山梨誠
橋村健司 倉橋（松本）浩一 門岡高太郎 高瀬紀子
飯田里美 平野朋美 長岡杏奈（14：20～）
竹本耕造（14：11～） 大塚智秋（15：30～）
（監事） 吉越千昭（14：30～）
（幹事） 清水信貴
書記（幹事） 吉田穂菜美
オブザーバー 堀口泰正（14:30～）
欠席：（理事） 竹内潤子 森田（近内）晴美
（監事） 永井薫
計3名
- 4、定足数確認（定足数8名）
理事 参加13名の出席で理事会は成立。
- 5、役割分担
議長：杉山明伸 書記：平野朋美
議事録署名人：杉山明伸 吉越千昭
- 6、報告事項、討議事項

（1）会長より

- ①第31回全国医療ソーシャルワーカー協会会長会について（資料1）
8/26ハイブリットで開催。次年度は大分県。
今回同様、理事にも会長会への参加を募る。
実習指導に関する取り組みあり、実習マニュアル部会が取りまとめている。
実習プログラミングについて勉強会開催（11/12（日）大阪）。
10/7九州ブロックとしての研修会に、「テクノロジーと人間のつながり：ICTを活用した医療・介護・福祉の可能性」に清水氏が講師として招かれている。
- ②第1回埼玉県脳卒中・循環器病対策推進協議会（資料2-1～4）
埼玉県では「埼玉県脳卒中・心臓病その他の循環器病対策推進計画」を策定し推進している。基本コンセプトとして、埼玉医科大学病院国際医療センターを中心に支援戦略の統合化によるシームレスな支援を展開していく方向づけが示されている。
MSW連携の会の開催について案内あり（資料2-4参照）、当協会からオブザーバーとして参加依頼あり。→当協会からは高瀬理事を派遣する。

（2）各部局より

<事務局> 竹野事務部長、平野理事、清水ICT部門設置準備室長からの報告、討議

- ①決済事項（育児休業等による会費負担免除申請について）；竹野事務局長

→1名申請あり。本日理事会を対面で行えなかったため、次回理事会で討議。

- ②今後の協会運営のあり方検討委員会報告（資料3）；竹野事務局長
今後の課題として定款改正や会員がモチベーションを高める協会運営、ICTの積極的な活用が挙げられる。
- ③今年度幹事氏名確認と委嘱状の発行について（資料4）；平野理事
→幹事の委嘱状は近日中に交付予定。
- ④協会主催の総会・研修等の会場について（資料5）；平野理事
今後は協会内で会場の情報を共有できるようにしていきたい。
- ⑤令和6年度通常総会の会場について；竹野事務局長
大宮ソニックであれば、現状6/1（土）空きあり。2部屋確保する。
研修と抱き合わせで行うかどうかは今後事務局と研修部で検討。
- ⑥今年度のICT推進計画と予算案について
 - ・事務所内のネット環境について；竹野事務局長
ポケットWi-Fi使用しなくてもネット環境問題なし。今後ポケットWi-Fiは必要かどうか。→契約を解約する。
 - ・Kintone、Peatix、google work space導入の進捗状況；清水ICT部門設準備室長
→Kintoneはパートナー企業の選定が必要である。提携先は、清水ICT部門設置準備室長の繋がり、実績のある企業と契約することが承認された。Peatixは、既に新人研修会での運営が始まっている。Google work spaceは、事務局とICT部門からスモールスタートしていくという報告がなされた。

<総務部> 橋村総務部長からの報告、討議（総務部資料参照）

- 1 会員状況の報告 東部73名、西部132名、南部119名、北部84名、総計408名。
- ②各ブロックの活動報告
- ③「MSW Saitama」106号について
 - ・9月中旬の発行を予定している。ホームページへの掲載は会員専用ページではなく、一般公開とする予定。

<研修部> 門岡研修部長からの報告、討議（研修部資料参照）

- ① 新人研修会について
 - ・入会して3年以内に新人研修を受講していない29名に案内を郵送。今年度の新規加入者は16名。8名の参加申し込みあり。ブロックごとの活動はできないので、全体で行う予定。
 - ・所属機関上の理由でPeatixでの支払いができなかった事例1件あり。
- ② 全体研修会・学会について
 - ・2月～3月土曜日、同日に開催予定。テーマは「貧困問題」とする。研修部としては、講師は都立大学 阿部彩先生に依頼しようと考えている。開催方法はオンラインで検討している。→理事会で承認。今後講師依頼予定。
- ③ 専門研修について（資料7参照）
 - ・チラシ案を作成。
案内を会員宛に発送する。10月中旬頃発送予定。オンライン開催予定。

* 研修等の会場について

門岡研修部長より、さいたま市民会館（県協会事務所の向い）の活用等も検討したらどうかと発言があった。

<社会活動部> 長岡理事からの報告、討議（資料8）

① 県民公開講座進捗状況

1-1 報告

- ・川越市後援、川越市社協へ後援依頼済み。
- ・ヨーコー印刷にA2サイズのポスター（単価100円、A4サイズのチラシ（単価27.5円）のデザインと校正を依頼予定。

1-2 高座作成

- ・テーブルの上に畳を置いて対応。

2 今後の広報活動

3 今後の工程

- ・会員宛に発送するのはポスターを想定していた。
→専門研修の案内と一緒に同封となると送料がさらにかかるか。また、ポスターだと医療機関によっては掲示が難しいところがあるか。
→ポスターの大きさは発注数も含めて再度協議していく（費用も含めて）。

<財務部> 高瀬財務部長からの報告、討議

① 財務状況報告

- ・9/20財務部会開催予定。

② 会費徴収方法等に関する進捗状況

- ・会費ペイについては、引き続き財務部内で検討中。

（3）次回理事会の開催について

- ・10月17日（火）14：00～ 原則直接出席で開催する。

以上を以て議案等の審議を終了し、16：28議長より閉会を宣し、解散した。

上記は理事会議事録に相違ないことを証明する。（署名略）

令和5年9月15日

議事録署名人(代表理事)

議事録署名人(監事)

令和5年度

公益社団法人 埼玉県医療社会事業協会

議 事 録

第7回 理事会

日時：令和5年10月17日（火）

場所：協会事務所＋オンライン会議（Zoom）

- 1、開催日時：令和5年10月17日（火） 14：00～15：50
- 2、開催場所：協会事務所、オンライン会議（Zoom）併用
- 3、出席者：理事13名、監事1名、幹事2名、顧問1名 計17名
出席：（理事）
杉山明伸 東（竹野）みはる 千賀英昭（ZOOM） 山梨誠
橋村健司 倉橋（松本）浩一（ZOOM） 門岡高太郎 高瀬紀子
飯田里美 平野朋美 長岡杏奈
大塚智秋（14：50～） 竹本耕造（14：10～ZOOM）

- （監事） 永井薫（ZOOM）
（幹事） 清水信貴 吉田穂菜美
オブザーバー 堀口泰正（ZOOM）
欠席：（理事） 竹内潤子 森田（近内）晴美
（監事） 吉越千昭
計3名

- 4、定足数確認（定足数8名）
理事 参加13名の出席で理事会は成立。
- 5、役割分担
議長：杉山明伸 書記：吉田穂菜美（幹事）
議事録署名人：杉山明伸 永井薫
- 6、報告事項、討議事項

（1）会長より

- ①「在宅医療・介護連携推進支援事業 都道府県・市町村担当者等研修会議」に関する情報提供（資料1）
- ②その他
・日本医療ソーシャルワーカー協会から各県協会の実態調査に関する問い合わせあり。事務局で取りまとめ返答する。

（2）各部局より

<事務局> 竹野事務局長、平野理事、清水ICT部門設置準備室長からの報告、討議

- ①決済事項（育児休業等による会費負担免除申請について）；竹野事務局長→理事会にて申請書を確認、理事会にて承認。
- ②今後の協会運営のあり方検討委員会報告（資料2、3）；竹野事務局長、堀口顧問
・第7回・第8回の検討会実施。堀口顧問、竹野事務局長、平野理事で定款改正に向けて、具体的な見直し条文を抽出し検討を開始した。
会員の種別、退会の条件、理事の人数、役員の報酬、総会の開催時期と回数、事業内容の見直し、育児休業等による会費免除
・令和7年6月定時総会に向けて準備していく。また一緒に検討していくメンバーを募っていく。
・11/1（水）杉山会長、堀口顧問、竹野事務局長、山梨理事で埼玉県保健医療部疾病対策課に訪問予定。
- ③令和5年度臨時総会に向けた準備について；竹野事務局長、平野理事

- ・会場を確保するために日時を決定したい。
議案書・ハガキを早めに印刷依頼をかけるため、11月中旬に各部局で次年度の事業計画・予算案を立て、12月の理事会にて決定、12月いっぱいには原稿の校正、1月中旬までに印刷・発送と計画していきたい。
- ・臨時総会は研修部の学会発表との合同開催予定（ハイブリット開催）。候補日は2/17、2/24、3/2。
- ・会場はWi-Fiが通っている場所が良い。会場の空きを確認していく。
- ④協会のホームページとメール受信に関するトラブルと今後の方針について；清水ICT部門設置準備室長
- ・Googleサービスを利用するためにドメインの登録が必要であり、山崎メディアミックス山崎さんに依頼。ドメインが混乱して一時使用不可となった。一旦落ち着いたらGoogleサービスの利用に向けて再度検討していく。
- ・そもそもなぜ山崎メディアミックスと契約することになったのか経過がわからない。2008年～契約書あり、以前は2年契約だったが現在は無期限契約となっている。解約できるものなのか、解約するとなるとホームページのアドレスやメールアドレスを変更する必要があるか出てくるかもしれない。
→司法書士に確認する。

<総務部> 橋村総務部長からの報告、討議 (資料4)

- 1 会員状況の報告 東部72名、西部131名、南部119名、北部84名、総計406名。
- ②各ブロックの活動報告
- 2 「MSW Saitama」106号について
 - ・会員に周知するため、各ブロックニュースにホームページの一般閲覧画面からMSW Saitamaが閲覧できることを案内していく。

<研修部> 門岡研修部長からの報告、討議

- ① 新人研修会について
 - 9/9 (土) 1回目開催 参加者8名。各ブロック長からの説明あり。
 - 10/14 (土) 2回目開催。講義+グループミーティング。
 - 11/25 (土) 3回目開催予定。県民健康センターで集合形式の事例検討。
- ② 全体研修会について
 - ・6/1 (土) の定時総会と同日に全体研修会を開催予定。
都立大学 阿部先生は3月にならないと6月の都合がわからないとのことで、講師依頼を断念。立教大学 湯澤直美先生に講師依頼していく。ハイブリット開催で、後日オンデマンド配信予定。
- ③ 学会について
 - ・コメンテーターは外部に依頼するとなると講師料や交通費がかかるため、県協会内部から選定を考えている。堀口顧問にお願いしたい意向。
 - ・学会の日程が確定したら、演題募集の発送とホームページでの案内を行っていく。
- ④ 専門研修について
 - ・案内は会員宛に発送済。1/15まで申し込み可能。現時点ですでに1名の申

込みあり。

<社会活動部> 長岡理事からの報告、討議

① 県民公開講座進捗状況

- ・ 県民公開講座の案内も専門研修の案内とともに発送済。
県や社会福祉士会、社会福祉協議会等のホームページに案内を掲載、また県や毛呂山町、川越市等の広報誌にも掲載予定。
- ・ チラシはプリントパックで2,500枚、ヨーコー印刷で300枚印刷を依頼。
300枚は、会員に郵送の他、顧問、事務局長に配布を依頼した。社会福祉士会や地域包括支援センター等に配布予定。チラシの残が60枚程度のため、追加発注も検討している。ヨーコー印刷に発注したポスター50枚は、川越市、ウェスタ川越及び高瀬さんを介して川越市内の地域包括支援センターに掲示予定である。
- ・ 高座の作成については、川越で畳3名をレンタルできる業者が見つかった。
- ・ 10/31 打ち合わせを行い、11/20（月）18：00～リハーサル予定。
- ・ 当日の運営について、協力可能な方がいたらお願いしたい。

<財務部> 高瀬財務部長からの報告、討議（資料5）

① 財務状況報告

- ・ 会費納入状況
331名+4名の振込あり、現時点で納入者335名。未納者75名。
未納者に対しては督促状を送付し、納入状況を確認後各ブロック長からも声掛けしてもらう。
- ・ 財務状況については、資料のとおり。会費収入が伸びなければ、下半期の支出が収入を上回る。経費削減に努めていただきたい。
- ・ 支出予定
会議等の集合形式が増えていくことによって、交通費も増えていく見込み。

(3) その他

- ・ 竹野事務局長より：事務所利用の申込みについて
協会事務所の利用を希望する場合は、申込み書と報告書を提出する運用となっている。LINE WORKS スケジュール表で竹野事務局長の出勤日の確認が可能。現在事務所の鍵は会長1、事務局3、財務部3で保有。
また、事務所の物品をリスト化していく。
- ・ 千賀理事、永井監事より：会員種別について
昭和40年、昭和62年時点ではすでに1号会員・2号会員とされていた。社団法人化前の昭和31年の規約によると、従事者・施設長・賛同者の3種類に分類されている。
- ・ 臨時総会の準備について
11/20までに各部局は次年度の事業計画案に基づいて予算案を作成し財務部長へ提出する。

- (4) 次回理事会の開催について
・12月5日(火) 14:00～ 原則直接出席で開催する。

以上を以て議案等の審議を終了し、15:50より閉会を宣し、解散した。

上記は理事会議事録に相違ないことを証明する。(署名略)

令和5年10月24日

議事録署名人(代表理事)

議事録署名人(監事)

令和5年度

公益社団法人 埼玉県医療社会事業協会

議 事 録

第8回 理事会

日時：令和5年12月5日（火）
場所：協会事務所＋オンライン会議（Zoom）

- 1、開催日時：令和5年12月5日（火） 14：00～16：12
- 2、開催場所：協会事務所、オンライン会議（Zoom）併用
- 3、出席者：理事11名、監事0名、幹事2名、顧問0名 計13名
出席：（理事）
杉山明伸 東（竹野）みはる 千賀英昭（Zoom） 山梨誠
橋村健司 倉橋（松本）浩一（Zoom） 門岡高太郎 高瀬紀子
平野朋美 長岡杏奈 飯田里美（～15：00）
（幹事） 清水信貴（Zoom） 吉田穂菜美（Zoom）
欠席：（理事） 竹内潤子 森田（近内）晴美 大塚智秋 竹本耕造

（監事） 吉越千昭 永井薫 （理由：2名ともに病院業務のため）
（顧問） 堀口泰正
計7名
- 4、定足数確認（定足数8名）
理事 参加11名の出席で理事会は成立。
- 5、役割分担
議長：杉山明伸 書記：吉田穂菜美（幹事）
議事録署名人：杉山明伸
- 6、報告事項、討議事項

（1）会長より

- ①保健医療部疾病対策課訪問報告(資料)
定款変更の意思表示、新規事業の展開について、事務所機能の強化・運営要領の改正等の報告を行った。
埼玉県保健医療部疾病対策課の見解は、定款変更や新規事業に関しては準備を進めても構わない、随時相談も可能。また、事務所機能強化の必要性から事務所員採用について了解を得た。報酬の支払いに関しては、定款ではなく運営要領への記載でよい。

（2）関係機関・関係団体主催会議参加報告等(資料；開催通知等)

- ①埼玉県一次脳卒中センター（PSC）申請施設MSW連携の会；高瀬理事
10月19日にオンラインで開催。
- ②埼玉県社会福祉協議会福祉研修委員会 竹内副会長代理；門岡理事
参加できず、資料のみ受領。今後、資料回覧予定。
- ③埼玉県肝炎対策協議会；竹野事務局長
保健医療部疾病対策課から、協議会の委員の依頼あり。門岡理事が参加予定。
- ④日本医療ソーシャルワーカー協会第1回各都道府県協会災害担当者オンライン意見交換会；平野理事（資料）
全国医療ソーシャルワーカー協会基礎調査の集計の結果、「対応している」51%、「未対応」37%、「計画中」12%であった。（前回埼玉県協会は回答できず）。
都道府県によっては、積極的に災害対応に取り組んでいる協会あり。協会とし

て会員の安否把握・協会のデータの保護をどうするか検討していく必要がある。

今後年1回は意見交換会を開催予定。今回は事務局から出席したが、来年度以降、どこの部局が担当するかは社会活動部と協議する。

令和6年1月28日（日）「災害時ソーシャルワークフォーラム」を開催予定（現地参加または後日オンデマンド配信）。

（3）各部局より

＜事務局＞ 竹野事務局長、平野理事、清水ICT部門設置準備室長からの報告、討議

- ① 今後の協会運営のあり方検討委員会報告（資料）；竹野事務局長、平野理事
定款改正担当チームからの報告。現在のメンバーは堀口顧問、竹野事務局長、平野理事。今後事務局、総務部から1名ずつ参加をお願いしたい。
メンバー及び定款改正の準備を開始することについて、了承を得た。
財務事情と事業計画及び予算案については、事業計画があり、予算案を立てることが大前提となることを再確認する必要がある。定期預金を取り崩すにしてもその用途について会員に対する明確な説明が必要となる。
協会の社会活動の在り方について協議しており、今後は社会活動部より長岡理事の参加予定。
- ② 令和5年度臨時総会について（資料；議案書案）；竹野事務局長、平野理事
各部局から議案書原稿回収済、修正・変更箇所がある場合は事務局へ連絡いただきたいと依頼した。
臨時総会は、令和6年2月24日（土）13：30～オンライン開催で決定。学会と同時開催。場所は浦和駅東口のパルコ内にある浦和コミュニティセンターIT研修室。費用は半日利用で840円＋備品。
1月15日（月）18：00～21：30、現地での事前確認予定している。関係者や現地を事前に確認したい方は参加。費用は1200円。経費削減を考えると、議案書や議決はがきの郵送代に経費がかかる。経費削減を考えて、書き損じハガキの有効活用の提案あり。
→臨時総会の基本方針は従来副会長に執筆していただいております、今年度についても副会長に依頼、どちらが記入できるか相談、確認していく。
- ③ 山崎メディアミックスとの契約及び協会のICT化について（資料）；清水ICT部門設置準備室長
 - ・ 山崎メディアミックスとは進展なし。違う業者に依頼しようと検討中。また、北海道協会のICT部門から紹介していただいた業者もあり、選定している段階。
 - ・ LINEのオープンチャットの開設（2月1日～）について連絡。
会員に向け郵送する郵便物の中に、一緒に案内を同封できればと考えている。ルールについても作成。オープンチャットが活用できれば、郵送代の経費削減になる。
ゆくゆくはオープンチャットの一本化を目指したいが、当面約1年間はオープンチャット以外のホームページや郵送は同様の形で継続する。
→松本理事より：研修部から学会の通知を郵送予定。学会の演題募集は1月末まで。2月に郵送しようと考えていた。
→平野理事より：臨時総会の案内は、2月7日に発送作業予定。研修部、ICT

部門からの資料も同封する。

→オープンチャット・学会・臨時総会の案内を合わせて、2月7日に発送する。オープンチャットは引き続き2月1日から開設し、会員は案内が届き次第、参加していただく。

<総務部> 橋村総務部長からの報告、討議（資料）

①会員状況の報告 東部72名、西部129名、南部118名、北部84名、総計403名。

現在、過去3年分の会費未納者9名。

②各ブロックの活動報告

③その他

永井監事より、法人化前昭和31年の役員名簿・規約、昭和44年社団法人の許可書の提供あり。協会事務所に保管する。→可能であればPDF化して理事間で共有。

<研修部> 門岡研修部長からの報告、討議

①新人研修会について

第3回新人研修会、11月25日開催した（集合形式）。

来年度も集合形式を予定しており、会場費を予算組している。

7名修了証発行予定。第3回研修会に1名参加できなかったため、来年度第3回研修の参加をもって修了証を発行する。

②全体研修会について

テーマ「貧困問題」。立教大学 湯澤先生は、令和6年6月1日全体研修会の講師都合つかず。貧困研究会の役員をしている立教大学 後藤広史先生、木下武徳先生を講師候補として考えている。

③学会について

現時点で演題のエントリーなし。1月31日演題募集の締め切り。演題発表を募集していること周知してほしい。

<社会活動部> 長岡理事からの報告、討議

①県民公開講座進捗状況

10月31日社会活動部のミーティング実施。

11月20日ウエスタ川越でリハーサル実施。高座の作成についても確認済。

ポスター50枚配布終了。埼玉県からも依頼あり、3枚配布。

ヨーコー印刷でのチラシ300枚、プリントパック2500枚+500枚、追加で

800枚印刷。医療機関、市役所、地域包括支援センター、保健センター、図書館やスーパー等にも配布。

12月12日社会活動部でミーティング予定。

2週間YouTube配信予定。

12月16日（土）当日お手伝い可能な方は12：50現地集合。

当日午前中川越市社会福祉協議会が後見制度について研修予定なので、県民公開講座への参加も促していただく。

平野理事より：案内を配布して地域の反応はどうだったのか？

→講座内容や共催について関心のある関係機関あり。

<財務部> 高瀬財務部長からの報告、討議（資料）

①会費納入状況、財務状況報告

11月末現在、会費納入状況は納入368名、未納者53名。

②令和6年度予算案

・収入について

420名+4名（2号会員）として会費収入を計上。その他、研修受講料（新人研修、専門研修）を計上し、合計3,108,020円。

・支出について

来年度時点で削減が難しい費用（家賃、水光熱費、Zoom、顧問料、登記料、会費、通信運搬費、印刷製本費）が2,242,421円、来年度のみ支出としてICT関連備品が266,481円、計上したい費用として事務所員のアルバイト代403,200円、削減を検討したい費用として（会場費、講師料、旅費交通費）638,000円、その他592,010円で合計4,142,112円。収入マイナス支出は、-1,034,092円。

・定期預金について

来年度の予算組で現時点約100万円のマイナス収支となっているため、定期預金を崩していくかどうか検討事項となっている。定期預金を解約して使用することについて、並木氏に確認したところ、理事会で計画を立て議決し、総会で承認を得れば問題はない。しかし、並木氏からは赤字に関してはできるだけ内部留保の分でやりくりする方が望ましいでしょうとの意見あり。支出の根拠を教示してくださいとのこと。赤字になってしまった場合、改善計画を作成して会員に向けて状況を報告した方が良いでしょうとアドバイスあり。

○財務部内で協議したこと

家賃について、理事会や会議については、ZOOMの活用を積極的にすすめる。月10万円の家賃代を支払っていく意義についても再検討が必要であろう。

講師料の削減として所属機関や協会内の会員に講師を依頼する。

会費について、会費の値上げの検討は？

各ブロックの助成金（Zoomの活用や発送料の削減により）今後減額の余地があるのではないか。

平野理事より：定期預金を切り崩すことについては会員に向けて周知し、総会で承認を得る必要がある。

千賀理事より：会費については所属施設が支払っているところもあるのではないか。ブロックニュースもMSWさいたまのようにホームページに掲載することで、郵送代を削減できると思われる。

竹野事務局長より：あり方検討会において、公益社団法人として新規事業の展開を考えている。そのためには事務所の機能強化とガバナンスを整えることが必要。

→臨時総会で状況の報告と定期預金の使途について報告する。

平野理事より：会費未納者への働きかけは？

→ブロックごとに分けて声かけをお願いする。

(4) その他

・ICT部門より：アカウント管理アプリを運用している。会員管理のアプリを

作成しようとして検討中。

- ・竹野事務部長より：令和7年度会費免除申請書1名提出があったと報告。申請書を回覧し、会長及び理事の承認を得ていく。

(5) 次回理事会の開催について

- ・令和6年1月30日（火）14：00～ 原則直接出席で開催する。
以上を以て議案等の審議を終了し、16：12より閉会を宣し、解散した。

上記は理事会議事録に相違ないことを証明する。(署名略)

令和5年12月12日

議事録署名人(代表理事)

監事2名は病院業務の為、欠席した。

令和5年度

公益社団法人 埼玉県医療社会事業協会

議 事 録

第9回 理事会

日時：令和6年1月30日（火）

場所：協会事務所＋オンライン会議（Zoom）

- 1、開催日時：令和6年1月30日（火） 14：00～16：36
- 2、開催場所：協会事務所、オンライン会議（Zoom）併用
- 3、出席者：理事14名、監事2名、幹事2名、顧問1名 計19名
出席：（理事）
杉山明伸 東（竹野）みはる 千賀英昭（Zoom） 山梨誠（Zoom）
橋村健司 倉橋（松本）浩一（Zoom） 門岡高太郎
高瀬紀子（Zoom～16:15） 平野朋美 長岡杏奈
飯田里美 大塚智秋 森田（近内）晴美（Zoom～16:00）
竹内潤子（Zoom～16:00）
（監事） 吉越千昭（Zoom 14:30～） 永井薫（Zoom～16:00）
（顧問） 堀口泰正
（幹事） 清水信貴（Zoom） 吉田穂菜美（Zoom）
欠席：（理事） 竹本耕造 計1名
- 4、定足数確認（定足数8名）
理事 参加14名の出席で理事会は成立。
- 5、役割分担
議長：杉山明伸 書記：吉田穂菜美（幹事）
議事録署名人：杉山明伸 吉越千昭 永井薫
- 6、報告事項、討議事項

（1）会長より

日本ソーシャルワーカー協会より、能登半島地震の支援依頼があったので、役員に転送したところである。

（2）関係機関・関係団体主催会議参加報告等(資料；開催通知等)

- ①埼玉県肝炎対策協議会：杉山会長（口頭報告）
埼玉県疾病対策課から協議会委員の派遣依頼があり門岡理事を推薦したが、女性をお願いしたいと県から依頼があり、飯田理事を推薦した。
- ②都道府県協会研修担当者会議：竹本理事（資料）
1月19日に開催された。他の協会も会員数の減少、研修の参加者が固定されている現状がある。
- ③埼玉県一次脳卒中センター（PSC）申請施設MSW連携の会:高瀬理事（口頭報告）
1月26日付けで主催者からメールで通知が届いた。次回開催日は3月19日、高瀬理事が参加予定である。

（3）各部局より

<総務部> 橋村総務部長からの報告、討議（資料）

- ①会員状況の報告 東部73名、西部130名、南部120名、北部84名、総計407名。現在、過去3年分の会費未納者9名。
- ②各ブロックの活動報告
- ③その他

<研修部> 門岡研修部長からの報告、討議

- ①学会について

発表の応募は1月31日締め切りだが、まだエントリーはない。発表を検討している方は数名おり、5演題は見込めそうである。抄録集はホームページ上に掲載するのみ。講評は堀口顧問に依頼。

埼玉石心会病院も1演題準備中。締め切りを待って、会員宛に記載通知を作成する。

②全体研修会について

テーマは「貧困問題」。杉山会長から立教大学木下武徳先生に了解は得ているが、来年度の予定がまだわからないため、正式回答となっていない。はっきりした段階で、研修部から正式に交渉していく。

③専門研修会について（資料）

1月20日オンラインにて開催。64名の申し込みあり。当日参加46名。

グループワークが好評であった様子。

受講料の収入もあり、収支は黒字。

平野理事より：公益社団法人の公益目的事業のチェックポイントの中に講座・セミナー・育成がある。（別紙参照）

「公益目的事業としての講座、セミナー、育成は、専門的知識・技能等の普及や人材の育成を行うことを趣旨としている必要がある。その事業内容につき一定の質が確保されているか等に着目して事実認定するのが有効であると考えられる」とある。チェックポイント①～④と今回の研修を照らし合わせると、専門家を育成するテーマであった、謝金に関しても過分な支給はしていない、研究者である専門家が適切に関与して研修を作り上げてきた等、有益な研修のモデルとなるのではないか。

また研修の広報やPeatixの利用でICTの活用が有効であった。

今後も専門研修のような、県協会の会員以外にも広く広報し、研修の機会が与えられると良い。

<社会活動部> 近内社会活動部長からの報告、討議

県民公開講座報告（資料）

当日参加58名、協力者11名。アンケート9名回答。

医療福祉相談会には2名の相談があった。内容は、成年後見関係の相談。

1月24日謝金の振り込み完了。

チラシやポスターの主な配布先は、埼玉医科大学病院関連や市役所、社会福祉協議会、地域包括支援センター、市民センター、銀行やスーパー、図書館等。

アンケート内容について報告。口コミ、チラシやSNS等で県民公開講座を知った方がいる。福祉関係者や一般市民の方の参加あり。58名中8割が一般市民の方で年配の方が多い印象であった。

動画視聴は72回。

当日、県協会のパンフレットを準備した。医療ソーシャルワーカーのことを知らない人もいたので、知名度としてはまだまだなのかなという印象。当日福祉関係者と思われる参加者から、県協会に入るためにはどうしたら良いのかと質問があった。

県民公開講座は年1回の中でどのように集客すればよいか、今後の社会活動部の活動について検討していきたい。

幹事の鈴木氏が今年度で退任の意向を示している。

<財務部> 高瀬財務部長からの報告、討議（資料）

①財務状況報告

会費未納者に対して、2回目の督促を行い、1月24日時点で21名振り込みがあった。1回目の11月の督促と合わせて、53名の振り込みがあった。

並木氏との協議内容（定額預金の使途）について報告あり。

550万円の定期預金の内、250万円を解約し150万円を来年度の支出に充てる（給与手当、消耗什器備品費、賃借料、製本印刷費、諸謝金）。残りの100万円は予備費として残しておくか、再度定期預金として預けるか。

会計事務所への支払いが去年・今年がまだ支払えていない状況である。

県協会事務所の賃貸契約の更新時期は2026年2月（最終更新2023年2月）。

来年度中に会費徴収の在り方を検討し、再来年度から運用したいと考えている。

堀口顧問より：予備費ではなく繰越金としての扱いになる。繰越金についても、使途を明確にすることが必要と考える。単年度であれば遊休財産の問題もないと考えられる。

→定期預金の解約について、理事会にて承認した。

<事務局> 竹野事務局長、平野理事、清水ICT部門長からの報告、討議

①今後の協会運営のあり方検討委員会報告（資料）；竹野事務局長、平野理事
松本理事より追加発言：公益社団法人として、協会の歴史も踏まえ、4年前に中堅研修会で行ったように法人の理念を確認し、ソーシャルアクションを展開していくことも重要だと思う。

②定款改正報告；竹野事務局長、平野理事

堀口顧問、竹野事務局長、平野理事に加え、山梨理事、橋村総務部長が参加予定。

2月7日に顔合わせを予定している。

③Googleworkspaceの設定と山崎メディアミックスとの契約について；清水ICT部門長

LINEWORKSの無料枠5G中、現在の使用は約2割。5Gを超えると有料になるため、Googleworkspaceへ移行したい。ドメインを取得する予定。

Googleworkspaceでデータ管理や同時編集、YouTube開設等が可能になる。

Googleのサービスを利用するには、法人のクレジットカードが必要になるので、クレジットカードを作成したい。

会員の交流や研修の案内のために、LINEオープンチャットを開設し、会員に広げたい。

並木さんからは、法人で作成すること自体は問題ないと思うというコメントをいただいている。

→法人でクレジットカードを作成することについて、理事会で承認。今後どこのクレジットカードと契約するかは情報収集し、並木氏とも相談しながらすすめていく。

④令和5年度臨時総会について

基本方針（案）について、案3を採用。

事務局→「ス 災害対策に関する検討、他団体との連携を行う」は、本来社

会活動部の活動にあたると思われるが当面は事務局で対応してほしいと会長より依頼があった。

研修部→専門研修会は今年度実施したが、毎年と想定していないので追記していない。

松本理事より：臨時総会の中で、会員に向けてICT部門のことを案内できると良いのではないかと意見がある。総会終了から学会開始までの時間を利用してICT部門長から話をさせていただくこととする。

当日の動きについて確認（資料）。

当日千賀理事はZoom参加予定。 12:45事務局、ICT部門集合。13:30までに役員集合。

（４）その他

- ・平野理事より：専門研修会の収益の用途について。能登地震の被災者の支援金として出資するのはどうか。
→財務部や並木氏に確認必要。
- ・事務局より：LINEオープンチャットの案内用紙をカラー印刷することの是非。書き損じハガキを活用した関係で、ハガキ代を抑えられたのでその分カラー印刷代に充ててよいか。
→財務部に確認する。

（５）次回理事会の開催について

- ・令和6年3月26日（火）14：00～ 原則直接出席で開催する。

以上を以て議案等の審議を終了し、16：36より閉会を宣し、解散した。

上記は理事会議事録に相違ないことを証明する。(署名略)

令和6年2月6日

議事録署名人(代表理事)

議事録署名人(監事)

議事録署名人(監事)

令和5年度

公益社団法人 埼玉県医療社会事業協会

議 事 録

第10回 理事会

日時：令和6年3月26日（火）

場所：協会事務所＋オンライン会議（Zoom）

- 1、開催日時：令和6年3月26日（火） 14：00～16：35
- 2、開催場所：協会事務所、オンライン会議（Zoom）併用
- 3、出席者：理事14名、監事2名、幹事2名、顧問1名 計19名
出席：（理事）
杉山明伸 東（竹野）みはる 山梨誠（Zoom）
橋村健司 倉橋（松本）浩一（Zoom14：10～） 門岡高太郎（Zoom）
高瀬紀子 平野朋美 長岡杏奈 飯田里美
大塚智秋（Zoom～16：00） 森田（近内）晴美（Zoom～15：35）
竹本耕造（14：10～） 千賀英昭（Zoom16:00～）
（監事） 吉越千昭（Zoom14:45～） 永井薫（Zoom～16:00）
（顧問） 堀口泰正（Zoom）
（幹事） 清水信貴（Zoom） 吉田穂菜美（Zoom）
欠席：（理事） 竹内潤子 計1名
- 4、定足数確認（定足数8名）
理事 参加14名の出席で理事会は成立。
- 5、役割分担
議長：杉山明伸 書記：吉田穂菜美（幹事）
議事録署名人：杉山明伸 吉越千昭 永井薫
- 6、報告事項、討議事項

（1）会長より

2月に臨時総会と学会は皆様のご協力が無事終了した。早くも、6月には定時総会と全体研修がある。それを認識して動いていただく必要がある。30年務めた会長としての任期はあと1年で終わり、1年後複数の理事の交替もあるだろう。様変わりの理事会を迎える次の1年は、新たな準備の年と考えていただきたい。

（2）関係機関・関係団体主催会議参加報告等(資料)

- ①令和5年度第2回埼玉県脳卒中・心臓病その他の循環器病対策推進協議会：杉山会長
3月7日開催、オンラインにて参加した。急性期からスムーズに次の病院への転院が求められていると感じた。
- ②日本脳卒中学会埼玉県脳卒中对策推進委員会からの協力依頼について：杉山会長
SCPA-Japan埼玉県支部設立に関して、京都大学医学部附属病院の宮本医師より、日本医療ソーシャルワーカー協会を通じて協力依頼があった。今後協力していくとなると、委員の派遣等を行う必要がある。
→受任する。竹野事務局長が委員に立候補され、全会一致で承認された。
- ③埼玉県一次脳卒中センター（PSC）申請施設MSW連携の会:高瀬理事
参加している各医療ソーシャルワーカーへのアンケート報告が行われた。モデル事業としては今年度で終了、来年度以降もMSW連携の会は継続予定。
- ④埼玉県肝炎対策協議会：飯田理事
3月12日開催。前年度事業の報告があった。肝炎の制度等が患者に行き届いていない現状があり、どういった啓蒙活動があるか等について協議した。
肝炎コーディネーターが各医療機関にいるようだが、自分の病院でも誰が

行っているかわからない。薬剤師会の方も制度のことを知らない。実態についてきちんと把握していかなければならないと感じた。

(3) 各部局より

<総務部> 橋村総務部長からの報告、討議 (資料)

①会員状況の報告 東部71名、西部127名、南部119名、北部82名、総計399名。

杉山会長より：ついに会員数が400名を切った状況であり、体制を立て直さなければならない。オープンチャットの参加人数も約60名であり、100名超えを目標にしたい。

②各ブロックの活動報告

③その他

<研修部> 門岡研修部長からの報告、討議

①学会について

2月24日に学会開催、5演題、オンライン参加25名、3月2日～24日までオンデマンド配信し、110回視聴（スマートフォンから視聴した人が多い）。

アンケートは20名回答。

今回は会場が決まってから案内をしたので、演題が集まらなかった。発表者の機関が偏っているため、発表者の裾野を広げていきたい。発表の仕方の研修を行うことも必要かを感じる。

②全体研修会について

貧困について題材とする。杉山会長より立教大学の後藤先生に講師を依頼し、内諾いただいた。研修部から正式に講師依頼をした。Peatix利用予定。定時総会と同日開催とし、会場は大宮ソニックシティ2部屋確保している。

③新人研修会、その他

新人研修会は全3回、本年度と同様の内容で対面開催を考えている。9月、10月、11月の土曜日に開催。会費は2,000円、Peatix利用予定。

中堅研修会は7月の土曜日午後または平日夜に開催予定。トリプル改訂の背景にある国の動向について、元立教大学の平野講師に依頼。講義+Q&A等を予定。Peatix利用予定。

学会は2月の臨時総会時に開催。

平野理事より：対面の機会を切望している会員もいるので、6月の定時総会は理事の他の方の意見を伺った上ではあるが、可能であれば感染対策をして集まれるといいなと思っている。

<社会活動部> 近内社会活動部長からの報告、討議

県民公開講座以降、活動は行っていない。幹事は1名辞退しており、事業方針が行き詰っている。現在幹事が2名不足している状況。

杉山会長より：幹事の任期は1年となっている。他の部局も含め、不足している場合はリクルート活動を行っていく必要がある。

<財務部> 高瀬財務部長からの報告、討議 (資料)

①財務状況報告

竹野さんに事務所員として、給与の支払いを2月分まで完了。また、会計事務所の並木氏に顧問料2年分の振込を行った。

本日時点でゆうちょ銀行に50,000円、埼玉りそな銀行に650,000円の残高となっている。

また、来年度早々に2,500,000円の定期預金を崩して、運営の資金に活用していく。

②専門研修会の収益の使途について

幹事の清水さんに謝礼として10,000円支払うことについて、理事会で決議したい。名目は講師料。

残った金額に関しては、能登地震の義援金に支払う。

→理事会にて承認。

③年度末の決算と会計監査日程

監事の吉越さん・永井さんと日程調整し、4月末に会計監査を行う予定。

④クレジットカードについて

年会費がかからない三井住友のビジネスカードを考えている。県協会のメインバンクである埼玉りそな銀行は年会費がかかってしまう。会計事務所の並木氏にも相談しており、理事で決めていくことで問題ないとの返答あり。特に他に意見なければ、4月早々に三井住友のビジネスカードの手続きを行っていく。

また、来年度の会費については4月中旬に案内を発送予定。再来年度の会費の徴収方法に関しては検討していきたい。

<事務局> 竹野事務局長、平野理事、清水ICT部門長からの報告、討議

①今後の協会運営のあり方検討委員会報告（資料）；竹野事務局長、平野理事
コロナ禍になってから他の会員と交流する機会がなくなっており、対面形式で集まることがもっとできたら良いという意見があった。
北部ブロックや東部ブロックで交流会を行い、参加者が多かったとの話もある。

②定款改正関連（定款等改正検討委員会）報告と理事会承認事項について；竹野事務局長（資料）

定款等改正委員会を立ち上げ、総務部の下に設置することで、理事会の承認を得たい。

定時総会に提案したい定款改正案（別紙参照）を作成した。また、内容の確認を県の疾病対策課に依頼している。

永井監事より：定時総会というのは、次回の定時総会という意味なのか？

平野理事より：定款等改正委員会の中で、別紙3、①～⑤の項目について

は、特に今秋予定されている郵送料の高騰を考慮すると急ぎ変更したいと考え、次回の6月1日の定時総会に提案したいと考えたところである。県の疾病対策課にも併行して投げかけているが、まだ回答はきていない。

永井監事より：日本医療ソーシャルワーカー協会の名称変更については簡単に改正できるものではないかと思うので、①～⑤の項目を優先的にやるのは、合理的な理由はどうなのかと感じた。改正案には賛成です。

注）日本医療ソーシャルワーカー協会の名称変更については、総会決議の要否について県に確認予定。要となれば、改正案に追加する。

堀口顧問より：今回挙げた①～⑤の項目に関しては、令和6年度の定時総会

に間に合うのであればということで急ぎ提案した。まだ続けて議論が必要な案件については継続審議としていきたい。県に諮りながらも、理事会で承認していただければと思う。もし、県の回答の遅れにより定時総会に間に合わなければ、次の臨時総会で、と考える。

杉山会長より：県の回答を待っている状況だが、デッドラインを決めた方が良いと思う。

高瀬理事より：4月10日あたりで県からの回答がなければ、次回定時総会には間に合わないのではないかと思う。間に合わなければ、再来年度の定時総会での定款改正を目指すのはどうか。

橋村理事より：定款等改正委員会に参加しているが、知識不足を痛感している。今後実務的なことを行っていくのは難しいと感じている。総務部長の役職についても千賀理事に相談している。

③令和5年度事業実施報告書の提出について；竹野事務局長

現在Kintoneでの管理を検討しているが、まだファイル形式で保管している。昨年度の各部局の事業内容を事務所でファイリングするので、各部の資料を提出していただきたい。

また、公益法人インフォメーションへの登録は、並木氏に確認していただいて、3月31日の締切りに間に合うように行う。

④令和6年度定時総会について；竹野事務局長、平野理事

i) 総会日程までのスケジュール（資料）

定款改正をするという前提で作成したので、タイトなスケジュールとなっている。5月初旬には業者に印刷発注を行い、5月8日か11日には発送予定。5月23日頃に議決のハガキを締め切り、会員から届いた票を、総務部で集計していただく。会員が400名とするならば、総会までに賛成投票が300票となるよう働きかけなければいけない。

ii) 議案書について

定期総会の議案書原稿最終締め切り4月23日、4月25日または26日印刷発注（遅くても5月1日または2日に印刷発注）。

高瀬財務部長より：精算が間に合わなかったものに関しては、来年度にお願いしたい。

4月15日の週に会計監査を行いたい。実印、印鑑証明が必要。

→4月18日14：00～開催予定。

松本理事より：全体研修の案内は4月中旬に発送しようと考えていた。郵送料を考えると他の案内と一緒に郵送をしたい。

平野理事より：対面かハイブリットで行うかどうか。会場の収容人数は100名。

清水幹事より：会場での対面とハイブリットだと、講師の音声がきちんと聞こえるかどうかという不安要素はある。

竹本理事より：研修部会で集合形式の対面に関してマスクの着用を促しているところもあるようなので、どうするのか検討事項に入れても良いのではないか。

⑤ Google Work Spaseとラインオープンチャットの活用について；清水ICT部門長

Google Work Spase に関しては、ICT部門と事務局で勉強会を行った。オープンチャットは現在60名登録。

(4) その他

- ・ 杉山会長より：榊原氏より、研究のため埼玉県医療社会事業協会の会員名簿を使用したいとの依頼あり。→ 理事会で承認。
- ・ 監事からのコメント
吉越幹事より：スケジュールが決められており、タイトであると思われるが力を合わせて取り組んで行きたいと思う。
永井監事より：事前の準備もされており、資料も適切に用意されていた。

(5) 次回理事会の開催について

- ・ 令和6年4月23日（火）14：00～ 原則直接出席で開催する。

以上を以て議案等の審議を終了し、16：35より閉会を宣し、解散した。

上記は理事会議事録に相違ないことを証明する。(署名略)

令和6年4月2日

議事録署名人(代表理事)

議事録署名人(監事)

議事録署名人(監事)